



# ふれあい 放水路

1998  
(平成10年)  
第47号  
2月



1月15日 現地説明会

## 縄文の丸木舟

〜三田谷Ⅰ遺跡〜

斐伊川放水路事業に先立ち、発掘調査が進められている出雲市上塩冶町半分はんぶんの三田谷Ⅰ遺跡から、昨年十二月末に丸木舟一隻が出土しました。

丸木舟は三田谷の水田下約三メートルから出土したもので、同じ土層から出土した土器から縄文時代後期（二〜四千年前頃）のものと思われる。

大きさは、長さ約五・六メートル、幅四〇〜六〇センチ、深さ一〇〜一四センチで、先端部分が少し欠けていますが、保存状態もよく、舟の形がほぼ完全に残っています。舟底に焦げ跡が残っていることから、火で焦がしながら削って造ったことがわかります。

縄文時代の丸木舟は全国各地の川や海、湖など水辺に接した遺跡から出土しており、県内では4例目、完全な形は2例目ということですが、縄文時代の出雲地方の漁業や水上交通を知る貴重な遺物です。



# 新内藤川水門ゲート設備ただいま工事中!!

平成9年9月に本体が完成した新内藤川水門は、現在ゲート設備の据え付けを急ピッチで行っています。

今月は、総重量約450tの水門ゲートがどのようにして作られ、据え付けられるかを紹介します。

## ① ゲートは兵庫県播磨の工場で作られました。



ゲートは鉄骨や厚い鉄板から切り出した部品を組み立て、溶接して作ります。

部品の1つ1つがとても大きいので、体育館のように広い工場でなければゲートを作ることはいけません。

## ② ゲートは5～6分割され、最大20tの荷物を積むことができる大型トレーラーではるばる運ばれて来ました。



そのままでは大きすぎて運べない部品はトレーラーで運べるサイズに分割して作られています。

ゲートの大型部品は一般交通の邪魔にならないように夜のうちに運ばれてきます。

## ③ 現場に到着したゲートは大型クレーンで吊り上げられ所定の位置に据え付けられます。



バラバラに運ばれてきた部品を1ブロックずつ100t吊りの大型トラッククレーンで正確に据え付けます。クレーンの運転手さんの腕の見せ所です。

## ④ 据え付けの終わったゲートは現地で溶接してつなぎます。



溶接の善し悪しは、ゲートの強度の生命線!!内側と外側から水が漏らないように丁寧な溶接でゲートの部品をつないでいきます。

## ⑤ 溶接作業と並行して、完成した開閉装置(巻上げ機)が搬入され、操作台に据え付けられます。



開閉装置1機当たりの重量は約30t! 一気に、地上約13mにある操作台に据え付けます。

## 今後の工事

今後は、ゲートの内・外側に塗装をします。春頃には、ゲートを動かすための電気設備工事を行い、作動テストが終わればゲート設備の完成です。

## ハコの中身は…

新内藤川水門のゲートは「シェル構造」という箱形の構造になっています。

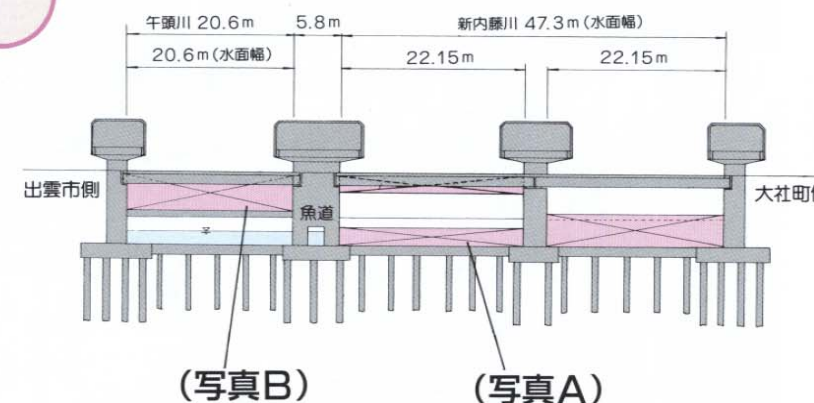
中は空洞ですが、写真のように鉄骨で骨組みを作り、厚めの鉄板を巻き付けているため、少ない材料で大きな水圧にも耐えられるとても丈夫な構造になっています。

\*シェルとは英語で貝殻のことです。



(写真A)

新内藤川2段ゲートの下段扉の中です。



(写真B)

(写真A)

## ゲートと私



(写真B)

これはゲートを輪切りにしたものです。とても大きいでしょう!高さが約4m、幅が約2mあります。この大きな部品を5～6個つないで1枚のゲートを作ります。私がこんなに小さく見えますね。

写真の部品は午頭川ゲートの一部になります。





### B谷の土でつくった

## 「湯呑と皿」プレゼント

放水路工事では、掘削に伴い多量の土が発生します。この土を利用して何かできないか、と考え焼き物をつくりました。斐川町にある「出西窯」に協力をお願いし、開削部B谷の「布志名層」と呼ばれている粘土質の土を出西窯の土に約3割程度混ぜて焼いていただきました。

この湯呑と皿をセットで五十名の方に差し上げます。(なお、応募者多数の場合は、抽選により当選者を決定いたします。)

### 応募方法

八方井に住所、氏名、年齢、職業、電話番号、「ふれあい放水路」についてのご意見・ご感想をお書きの上、ご応募ください。

#### 応募先

〒693-0023

出雲市塩冶有原町五一ー

建設省出雲工事事務所

「ふれあい放水路 プレゼント係」

■×切り 三月十六日(必着)

\*当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



## 拡幅部堤防工事起工



先月号で紹介しました拡幅部堤防工事の起工式が、一月十三日、出雲市長浜町の出雲市西部体育館で、出雲市長、大社町長をはじめ関係者約八十名の出席のもと行われました。出雲工事事務所による工事説明の後、工事の安全を祈ってクワ入れが行われ、工事の開始を告げました。いよいよ築堤工事が本格的に始まります！

## 宍道湖バードウォッチング'98

今年もたくさんさんの冬鳥たちが出雲地方にやってきています。斐伊川水系を訪れる鳥たちの観察を通して、河川環境の保全について理解を深めて頂くため一月二十四日、宍道湖グリーンパークにおいて「宍道湖バードウォッチング」を開催しました。



当日は大雪にもかかわらず五十名の方が参加され、島根自然保護協会の方の指導を受けながら熱心に美しい野鳥の姿を観察していらつしやいました。

## 斐伊川放水路の工事実施状況



(平成9年12月以降の発注工事)

工事名	業者名	工期
塩治水路工事	大福工業(株)	自至 H9年12月19日 H10年3月31日
半分樋管工事	(株)都間土建	自至 H9年12月19日 H10年3月31日
崎屋仮橋工事	松尾橋梁(株)	自至 H9年12月23日 H10年3月31日
菅沢維持工事	大和建设(株)	自至 H9年12月23日 H10年3月31日
半分大橋下部工事	カナツ技建工業(株)	自至 H10年1月14日 H10年8月31日
拡幅部工事用道路工事	フクタ・まるなか建設 経常建設共同企業体	自至 H10年1月20日 H10年7月15日
斐伊川放水路境島堤脚基礎工事	大畑建設・今井産業 経常建設共同企業体	自至 H10年2月7日 H10年6月30日



**建設省中国地方建設局  
出雲工事事務所**  
〒693-0023 出雲市塩冶有原町5丁目1番地  
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。  
問い合わせ先：ふれあい放水路担当